

和歌山県海草郡紀美野町

地区×学生による観光・文化・交流情報発信と棚田の再生



【地域の基礎データ】

人口：8,640人（令和2年3月末現在）

高齢化率：46.2%（令和2年1月1日現在）

産業：棕櫚製品製造業、農業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：15名（1回生：5名、2回生：6名、3回生：4名）

活動期間：平成30年4月～

担当教員：佐野楓

1. 活動実施の経緯

2017年度まで5年間に渡り、紀美野町の上神野地区で発動してきたこのLIPは、一昨年頃から地域を新たに紀美野町の小川地区で活動を進めてきた。本LIPは新しいメンバーを加えて、2020年6月に小川の郷づくり会さんと顔合わせをした後に、本格的に活動をスタートした。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、小川地区の方々と参加学生の健康と安全へ配慮し、オンライン活動を中心となり、現地でのフィールドワークを自粛した。

2. 活動の内容

本LIPは2020年6月からほぼ毎週の木曜日にオンライン会議（活動）を行ってきた。今年度の主な活動は3つがあった。すなわち、①新型コロナウイルス感染予防のため、新たな観光形態—バーチャル観光のあり方と小川地区での実施に関する探索；②紀美野町における観光公害を解決するための意見交換；③12月13日に開催された世界民族祭のために、これまでの小川LIP活動紹介の動画作成であった。

3. 活動を通じて

課外活動が実施できない中、参加学生はオンライン会議を通じて、小川LIPに関する様々なことを積極的に取り組んできた。勉学面だけでなく、メンバー間の親睦を深めることができた。



4. 成果物（ポスター）

きみの

紀美野町小川LIP

地区×学生による観光・文化・
交流情報発信と棚田の再生

紀美野町

和歌山県北西角、ススキの大草原が広がる生石高原。その麓に広がる紀美野町小川地区は、豊かな自然に恵まれています。人、地域文化、自然とのつながり多様なイベントや地域交流活動の形で大切に残されておられる風景一つ一つが訪れた人々の心を癒します。毎年行われる冬まつり、夜空で輝く星々と、冷たい冬の夜を灯す竹灯籠やイルミネーションは格別です。また、山笠をはじめ、生石登山、古民家「風の森」宿泊などの体験を通して、私たちに小川地区の人々の温かさを感じさせてくれる、そんな地域です。

新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、2020年度の小川LIPの活動はオンラインで行いました。写真は、本年度のものです。



ここが私のアナザースカイ。

各SNSにて発信中！



Twitter



Instagram



Facebook

活動目的

学生視点での、生石高原を中心とした小川地区の観光誘客・PR、活性化を目指す。小川地区の魅力を発信し、地域の魅力を発信することも目的としています。

2020年度活動内容

- ・毎週会議
- ・Zoomで紀美野町の方々と交流
- ・世界民族祭への参加
- ・棚田の再生プロジェクト
- ・SNSでの活動

顔合わせ

新型コロナウイルスの影響で現地に行くことが困難であったため、小川地区のみなさんとオンラインで顔合わせをしました。小川地区の現状について教えてもらい、今後の主な活動内容である棚田の再生について協議しました。

小川LIPの集まり会の方々とオンライン会議をしている様子。久しぶりの顔合わせでテンションMAXの生石生かき部の皆さーの一生！



世界民族祭

紀美野町で毎年開催されている世界民族祭に向けて動画を制作しました。2020年の世界民族祭はオンラインで開催され、小川LIPの活動内容、参加学生の学びや思いを動画にまとめました。



中田の棚田

現在紀美野町小川地区では生石高原の北斜面に広がる約10平方メートルの棚田を地域おこしの目玉にすることを目的とした「中田の棚田再生・活用プロジェクト」が行われています。高野山へ多くの米を納めていたという古い歴史も残る中田の棚田ですが、現在では大半が放棄され雑木や雑草が生い茂っています。私たち小川LIPは中田の棚田が以前のような美しい原風景を取り戻し小川地区の地域資源として地域の発展へとつなぐ棚田再生プロジェクトの活動に今後積極的に参加をしていきたいと考えています。

